

平成30年10月5日

議員定数等調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 議員定数等調査特別委員会
- 2 日 時 平成30年10月5日（金） 11時15分開会
12時 1分閉会
- 3 場 所 議場
- 4 出 席 委 員 岩崎健二委員長、白石純一副委員長、
渡辺久治委員、濱田洋一委員、西田数市委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員、竹原恵美委員、
中面幸人委員、大田重男委員、濱崎國治委員、
牟田学委員、濱之上大成委員、山田勝委員、
野畑直委員、（木下孝行議長）
- 5 事務局職員 次長兼議事係長 牟田 昇、議事係 大漣 昭裕
- 6 会議に付した事件
・議員定数等調査について
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

岩崎健二委員長

ただいまから、議員定数等調査特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会の調査方法について、御意見を伺いたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

例えば、本委員会で結論を出すのか、あるいは広く一般市民から意見聴取を行うのか等を考えて御意見をお願いいたします。

どなたから結構です。

竹原信一委員

まずですね、何の話をするのかということ考えなきゃいかんと思います。今度の改選後の定数について話をするのか、そうであるかないかをはっきりさせてからでないと、何のために話をしてるのがはっきりしないと思いますけれども。そして、人数をふやすのも含めてですよ。今度の改選後のことを話し合いをするんですよということを、確認をまず先にしていただきたい。

岩崎健二委員長

私の表現が間違っていたら訂正いただきたいんですが、この定数等調査特別委員会は、次回の市議会議員選挙における定数を、現状でいくのか、あるいはふやすのか、あるいは減らすのかという話をする委員会だということに理解しています。もし、ふやすというふうにしても、減らすというふうにしても、条例改正の手续が必要だと思いますので、そこまでをやらないといけないと理解しております。

竹原信一委員

まさにそのとおりなんですけれども、次の改選のときからの話というふうに定義すべきだという話なんですよ。

岩崎健二委員長

今、竹原信一委員の意見は次回の定数は変更しないということですか。

竹原信一委員

次回の、次回改選されますよね、そのときの定数について議論するんだと。

岩崎健二委員長

来年の平成31年4月に予定されています定数についての議論ということで理解していますが、よろしいですか。

それでは、委員会の今後の審査方法について、皆さんの意見を伺います。

ありませんか。

白石純一委員

4年前、私も1期目の議員はいなかったわけなんですけれども、間違っていたら御指摘ください。区長会、あるいは区長の御意見は聞かれたと理解しておりますが、区長は区のまとめ役ではありますけれども、必ずしも市民全体の代表の意見を全員が持ってらっしゃるわけでもないと思います。各自治体の例を見ますと、アンケートを市民に、千名とか、無作為にアンケートを郵送して、

議員定数、あるいは議員定数でなくてもですね、報酬についてはどう思うかと、政務活動費についてはどう思うかと、普段の議会の声は届いているかと、あるいは議員と語る会に出れない、出なかった理由はなんのかと、そういった議会に関して市民がどう考えているかといったアンケートをとられている自治体も多くありましたので、そういったアンケートを実施するということが、一番市民の声が入ってきやすいのではないかと考えております。

岩崎健二委員長

今、白石委員より、市民からのアンケートをとるべきだと。ほかにありますか。

中面幸人委員

議員定数についてはですね、やはり人口との関係があるので、前回16名になったときの人口と、現在の人口を一つの判定材料としてですね、知り得る必要があると思うので、その辺を調べていただけないでしょうか。

岩崎健二委員長

それぞれの判断材料につきましてはですね、それぞれいろんな資料が市のほうからも出るし、議会にもありますので、おのおのの判断材料についてはそれぞれ勉強してください。

濱崎國治委員

今、白石委員のほうからありましたとおり、前は区長会の意見等聞いておりますので、今回はたまたま日程的に議員と語る会の中で、議員定数等についてお伺いするようになってるのが一つ、もう一つは、4年前と一緒に区長会の意見を聞いて、どっちみち議会自体が判断せないかんことですので、そういう2とおりにぐらいでいいんじゃないかなということを思っていますけど、いかがでしょうか。

岩崎健二委員長

区長会の意見を聞くべきだという意見もあります。
ほかにありますか。

竹原信一委員

白石議員の無作為に住民の意見を聞くという手法は大変有効だと思います。それと、今回、濱崎議員が言われたように、議員と語る会もありますので、その議員と語る会で、参加された方々のアンケートの中に何人がいいですかって、そういったことを入れるという方法もよろしいのではないかと思います。

岩崎健二委員長

議員と語る会の中において、出席した市民の皆さんからのアンケートをとるという意見があります。
ほかにありますか。

中面幸人委員

皆さんも御存じのとおりですね、議員と語る会に出てくる市民というのは、ほんと限らされて少ないですよ。そういう中で、あんまり私は意味はないと思うんです。そういう議員と語る会でのアンケートによる判断というのはですね、それはどうかなと思ってます。皆さんがどう思ってるかわかりませんが、私はそう思います。

岩崎健二委員長

それぞれ皆さん意見がありますので、皆さんの意見を出していただいて、それに基づきますので、皆さんの意見についていいか悪いかという判断はしませんので、そこは皆さんがそれぞれ判断しますので、それについてのいいか悪いかという判断は、この場ではすべきでないと思いますので、よろしく願います。

濱崎國治委員

先ほどの中面委員の意見、それで判断するのではなくて、結果的には議員自体が判断、議会が判断せないかんですので、そういう意見を参考にしながら、最終的には議会が判断するということになりますので、そういうことでいかがでしょうか。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

語る会では、まず情報をとるときに、あまりに偏ったといいますか、特色があるところのデータをまず並べてしまうというのは好ましくないのではないかと考えていて、語る会に来られる方は毎回毎回同じですし、思考もよく理解できる方向性もお持ちなので、ここから情報をとるということは全体に反映するデータとしては好ましくないのではないかと、私は思うところです。先ほど白石委員が言いました無作為という形は、ある程度全体を捉えるのに有効だと思いきは使ってみていいのではないかと思います。そして区長なんですけれども、皆さん、区の取りまとめであって、区の代表者ではいらっしゃるけれども、市民全体を網羅するという意味ではあまり重要視すべきではないと私は思っています。区長との会には必要はないとっております。あとは市民の代表であるという意味では議員が、それぞれが聞き取りをする中での情報を集めてくる。それぞれの意見として集めてくるというので有効ではないのかと思います。

山田勝委員

濱崎委員の意見に僕は近いんですがね、例えば、あくまでも決めるのは議員ですよ。あくまでも決めるのは議員です。別に誰も意見を聞かなくても議員が決めればいい世界の話ですよ、これは。だから、参考までに議員と語る会の中でですね、意見を聞く、話を聞くのだけでも私は充分だと思いますよ。だから、あとは議員が判断する。とりあえず、なんでかつたら、無作為にアンケートをとるって、それなりにね、時間と労力がいらいますよ。だから最終的には議員が判断する。とりあえず、近く実施される議員と語る会のテーマの中でですね、話をしてみんなの意見を聞くというぐらいでも僕は充分だと思いますよ。

竹原信一委員

議員定数というものはですね、あるいは議員の報酬もなんですけれども、自分のふところを自分で量れるというような性質があるわけですよ。ですから、客観性といいますか、市民の御意見ですよという形、形というかな、本質を絶対緩めちゃいかんと思います。私たちは好きなようにしてはいけません。皆さんが、住民の大多数が同意できるような方向で決めましたということを示

さなければいけないと思いますよ。

岩崎健二委員長

ほかにありますか。

濱之上大成委員

実はですね、皆さんのおっしゃることはほとんど賛同いたしますけれども、歯が聞こえにくいかもしれませんけれども、やっぱり基本的には住民の方は議会の量の改革を重点的に求めると思います。まず報酬の減、それから定数の減、これに変わりはないと思います。しかし、議会のほうはやはり質とか、品質とか、性質を向上させる議会改革をですね、議会の活性化を求めていると思うんです。だけども、この定数を考えるとすれば最終的には議員が10人にしましょう、8人にしましょう、とこう決めるのは議員だと私は思う。そのためにはいろんな方々の意見だけは聞くのも大事じゃないかなというふうに思ってます。

牟田学委員

先ほどから出てますけれども、議員と語る会についてはですね、出席者というのがほとんど区長さんたちなんですよね。来ないところは区長も来ないというところもあって。だから、そこで議員定数について話したりなんかというのは、ちょっと無理があるのかなと。それよりか、議員と語る会においては、ほかのことで議論をする。それで私もですね、白石委員のアンケートですね、議員定数、そして報酬、それと調査の件、そういうのを全部入れてですね、だいたい市民の皆さんがどのように考えているのかというのをやはり把握するのも一つの手じゃないかなというふうに思います。

岩崎健二委員長

先ほどから出ていますように、最終的に結論を出すのは議員自らですので、その判断材料としてそのような判断材料にするのか、というのが今の議論だと思います。その判断材料をとるために、今、皆さん意見のあった区長からの意見を聞くとか、市民アンケートを行うとか、手法の話をしてるんだらうと思います。そこでですね、皆さんの意見を集約しまして、区長会や、あるいは商工会議所とかほかの諸団体も含めるのか、意見を聞くとした場合にですね。それはやめて市民アンケートのみで行うのか、あるいはそういう意見は聞かないで、議員と語る会を自分たちだけで判断するのか、そういうことになるかと思いますが、いかがですかね。

白石純一委員

主に大きく2つの意見に分かれたようにも感じられますが、決して私はどちらがいいと言ってるわけではなくて、議会と語る会でも現に議題にするわけですから、そこは区長さんがたくさん出てらっしゃる場でもあると。普段から市政に大変関心の高い方、あるいは時間がある方が来られます。一方で、やはり常に議会は見えないけれども、やはり議会に思うことがあるとか、なかなか子育てや仕事で議員と語る会には行けないというような方、あるいは10代の方。なかなか議会と語る会には来づらい雰囲気があるとよく伺いますが、10代、20代の方、あるいは女性の方。こういった方も含めて広くそういった方々の意見も聞くことですね。ですから、これかこれじゃなくて、これもこれもいろんな方法で意見を聞くということが大事ではないかなと思います。

仮屋園一徳委員

今ですね、アンケートも出ましたし、市民からの意見を聞くという面では、誰も、どの委員の方も指定されていないと思いますのでアンケートにしても、市民から意見を聞くということも非常にいいんじゃないかと。それに議員と語る会にしましても、人数は少なくてもですね、せっかく来てもらうわけですので、その人なんかからの意見を聞くためにアンケートとか意見を聞くのもいいと思います。ただ、方法については、アンケートにしても年齢層であるのか、どういう方法であるのか、いろいろありますし、また、市民からの意見を聞くにしても、一つの例が区長会であって、あとほかに市民からいろんな団体とか、こういった方法で聞くのか、それをきょうここで決めるというのは、なかなか難しいと思いますので、できればその辺をば委員長の方で整理をしてもらって、次の機会にしたらというふうに私は思いますけど。

岩崎健二委員長

ちょっと休憩します。

(休憩 11:32~11:33)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

皆さんに確認をお願いします。

市民アンケートをとるとした場合、予算の関係をどうするのか、同然郵送料とかいります。時間的にも1カ月なるか、2カ月なるかということもあります。仮に、定数を変更しようとするれば、最低でも3月議会の冒頭で条例を改正する必要があります。その時間的なもの、遅くてもですよ、遅くとも3月議会の冒頭に条例を改正する必要があります。市民アンケートをとるとすれば予算の関係もあるし、期間のこともありますので、そこも考えて協議をお願いします。

濱崎國治委員

次の改選から適用するとなれば、今、3月の冒頭とおっしゃたですけれども、12月でない間に合わないんじゃないですか。そうすればアンケートをとったり、いろんなのが間に合うかということもですね、スケジュール的なものも考えて、じゃあどういうふうに民意を反映させるかというのを検討せないかんんじゃないかなと私は思いますけど。

白石純一委員

もちろんスケジュール、予算のことは私もどれだけかかるか把握してないんですけども、時間的には充分間に合うんじゃないかというのは、すでにいろんな市で行われたアンケートがあります。サンプルがありますので、それを利用すれば聞く内容についてはほとんど、すぐに用意できるのかなと思っております。

竹原信一委員

今、白石議員の調査のというか、方法は有効だと思うんですね。無作為抽出という方法はそんなに数を出さないんですよ。でも、データとして皆さんの意見を聞くには十分な値打ちを持っていると、そういう研究結果が出ております。

お金もそんなにかからないし、割りあい早くできることだと思いますので、それは採用していいと思いますよ。

山田勝委員

もうな、私はみんな議員それぞれがですね、聞いて、その結果を持って来て、次の議会では決めていいですよ。みんな聞けばよかつじらい、自分の支持者とか、みんなから聞けばよか、そんな面倒なことをせんでも。最終的には自分のこと、自分たちの話なんだから。それと、聞けばですね、みんな議員はいらんとかて言わあ人もいるし、給料もよかどがて、もうそげんしばっかいやったって、言わあしは。それで語る必要もなか。

中面幸人委員

私も今、山田委員がおっしゃったようにですね、それぞれの議員の活動の中でですね、いろんな意見は聞いてると思うんですよ。だからもう自分たちで、時間的な制約もあるし、私はもう議員で決めていいと私は思っております。

岩崎健二委員長

ほかにありますか。

野畑直委員

きょうは特別委員会の初日ですけれども、今、いろいろ意見があって、みんなの意見を聞いて、それを集約して、先ほど出ました。これからのことをどうするかということは、それぞれみんな自分たちのまわりに議員ですから支持してくれる人たちがいる。そういうこともちょっと聞く時間もとってですね、次に進むべきだと思います。きょう、初日に全てを決めてという、時間的なものはもちろんありますけれども、やはり議員だから議員が決めるんですけれども、それはやはり広く、別にアンケートに反対するものではないんですよ。だけど、やはり議会の役割、今、委員会も常任委員会も5つありますからね。そういうことも市民に周知徹底した中で何が適当なのか、役割分担が議員にはありますから、そこらもやはり浸透させる必要もあるし、やっぱり自分たちが議員をして役割分担、消防議会、広域の議会、あるわけだから、その辺も含めてその人数というのをしっかりと議論をしなければならぬので、中身について、アンケートについてそういうことも含めて周知してもらうのもまた必要だろうし、1回目で全てを決めて今後またということになれば、やっぱり時間をおいて、もう1回また早めに委員会をしてもらえればと思います。

濱之上大成委員

今、副議長がおっしゃったこともそのとおりだと思います。ただ、先ほど来申し上げますけれども、やっぱりこう、何て言うんですかね。住民判断というのはな、ほとんど行政コストに見合うだけの活動、議会になってるかというふうに捉えてると思うんです、私の感覚では。ですから、先ほどのアンケートの件ですがね、今回、住民と語る会がありますよね。そのときに各班ごとに担当の区に簡単なアンケートを出すのも一つの手でもあろうかなというのも感じます。そして意見も聞く、そして今先ほど言った野畑議員や山田議員がおっしゃったように、各支持者にどげん思うなと聞いてくるのもあるので、そういった時間をつくれれば少しはスムーズにいくのかなというふうに私は思いますね。以上です。

濱崎國治委員

委員長がおっしゃった次の改選から適用するために結論を出すという考えでいいんですか。

岩崎健二委員長

私はそのように理解していますが、皆さんの理解はそれでいいですか。いいですか。

[発言する者あり]

濱崎國治委員

そうであれば、12月には遅くとも結論を出して、条例改正をしなければいけないということになると思うんですが、その辺も含めて今後議論をしていただけたらと思います。

岩崎健二委員長

日程的なことで言いますと、法的には先ほど私が3月議会と冒頭言ったのは、法的には3月の議会の冒頭で条例改正をすれば間に合う。ただ、これが市民に広く周知されるか、されないかという期間が十分かどうかということにつきましてはまた議論があるところだとは思いますが。今までの他市を見てみると、議員定数を変更する場合は、ふやすにしろ、減らすにしろ、1年とか2年とかという周知期間をおいているところがほとんどではないかなというふうには個人的には理解しております。

白石純一委員

アンケートの内容についてですね、2、3の市、私はネットで見てみました、ああなるほどなど。決してふやす、減らすだけではなくて、その理由についてもいろんな意見を聞いておられますし、そういったものをサンプルにして、私はたたき台のようなものをつくってもいいかと思っております。

岩崎健二委員長

アンケートをとるにしても、アンケートをとる場合には後日皆さんとやればいいことだと思いますので、今、皆さんの意見があります区長会や他団体の意見を聞く機会を設けるのか、あるいは設けないのか。市民アンケートを行うのか、行わないのか。あるいは議員と語る会のアンケートだけで済ませるのか、そののところをですね、結論を出していただければと思うんですが。

竹原信一委員

アンケート手法については、委員長が調べていただいて、どれくらいの数でしたらどうかと、その中身についてはどうかというのを提案していただければよろしいかと思えます。

岩崎健二委員長

だから、そのアンケートの中身についてはやると皆さんが、ここで市民アンケートを今回行うというふうに決していただければ、とる方法、中身については委員長のほうでインターネット等、あるいは調査した結果で皆さんにお諮りするということになると思います。

中面幸人委員

今回、議員と語る会での案もあるんですけど、ぜんぜん市民が知らない中で議員定数が変わったというのもおかしいと思うので、とりあえずその議員と語

る会です、ある程度アンケートなりとするようにして先に進めばどうですか。だからそれをするか、せんかを決めたらどうですか。

大田重男委員

私もですね、議員と語る会に議員定数のテーマを出してるんですよ。その中で生の声を聞くわけですよ。だから議員と語る会も私は重要視する必要があると思ってます。先ほどランダム形式でアンケートをできるんだったら両方やってもいいのかなと思ってますけど。

岩崎健二委員長

議員と語る会では、この議員定数については議題の中に入れてありますので、これはやる必要があると、最低でも。これはしないとイケないと思います。議員と語る会以外についてですね。

濱之上大成委員

ただ試験的にアンケートの話が出たから言うんですよ。議員と語る会で生の声も聞き、各区長さんに議員定数についていかが考えるかの、文言はわかりませんが、そういったアンケートを配って、配布したやつをもらうというのをもらうというのも1つの手じゃないかなと言ってるだけです。

野畑直委員

アンケートをする、区長会の意見を聞く、私は幅広く聞けるところは聞いて。というのがですね、今度11月1日に区長会と執行部の意見交換会がありますので、議員と語る会が終えてからですけれども、そのときにも各委員長、議長、副議長、参加させてもらえますので、そのことを全体区長会の中でも聞いて、幅広く意見を求める体制づくりが必要だと思いますので、なるべく多くの方の意見を反映させるということにしたほうがいいと思います。

岩崎健二委員長

それではまとます。方法として、議員と語る会のみで意見聴取を行ったのち議会で結論を出すという方法が1つあると思います。今、皆さんの意見を聞いたときに。それから、さらに、それに市民アンケートを加算するという今の御意見があるかと思えます。さらに、区長会や他団体と幅広く市民の意見を聞く会を設けたのち結論を出す、集約するとこの3つの意見があると思えますが、それでよろしいですかね。

濱崎國治委員

アンケートは、議員と語る会の際に出席者にアンケートをとったらという意見をあつたんじゃないですか。

[発言する者あり]

岩崎健二委員長

もう1回言いますよ。議員と語る会で生の声を聞き、さらに議員と語る会で出席した皆さんからアンケートをとったのち議会で結論を出すという1つの方法。それから、区長会や他団体と幅広く意見を聞いたのち、もちろんさっきの議員と語る会を含めてですよ、区長会や他団体幅広く市民の意見を聞いたのち結論を出す方法。さらに市民アンケートを含めてやる方法という意見が皆さんから出ているんですが、いかがですかね。

仮屋園一徳委員

真ん中の頭に区長会というのを入れないといけないんですかね。それをはずせばどうなんですか。

岩崎健二委員長

区長会や他団体と言ってるんですが、区長会じゃなくてもいいんですよ。

仮屋園一徳委員

区長会というのの頭を外しても、区長会も入ると思いますので、それを2番目の項目から外してもらえれば、私は2番目に賛成します。

岩崎健二委員長

それでは意見を集約します。私は区長会を含めた他団体と言いましたが、市民の幅広い意見を聞くために市民の代表者との意見交換会を行う。

[発言する者あり]

ちょっと休憩します。

(休憩 11:46～11:52)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

まず、初めに、無作為の市民アンケートを行ったほうが良いと思われる方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手) 7人

今言ってるのは市民に対する無作為アンケートですよ。市民に対する無作為アンケートを行うかどうかの。

[発言する者あり]

今、白石委員が最初発言されました市民から無作為に抽出した人にアンケートを出すか、出さないか。その1点だけを今。

[発言する者あり]

もう1回とりますよ。市民から抽出した人に、無作為抽出した人に市民アンケートを行ったほうが良いと思われる方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手) 7人

次に、議員と語る会で生の声を聞き、出席された方のみアンケートで行う。

[発言する者あり]

アンケートはしないということです。市民アンケートはとらないで、議員と語る会に出席された方の。

[発言する者あり]

市民アンケートのことはおいて、議員と語る会で生の声を聞き、さらに出席された方のアンケートをとる、この方法が良いと思われる方。

(賛成者挙手) 12人

次に、市民の方から広く意見を聞く方法を行う。

[発言する者あり]

例えば、他団体、いろんな団体の方との意見交換を行う。

[発言する者多数あり]

手を挙げてください。

仮屋園一徳委員

いろいろあると思いますけれども、区長会についてはアンケート配るとか、それから団体の意見を聞くのかを含めて、ここでどれとどれとどれにするというのは今は決められないと思うけど、ただ、市民からそういった形で意見を聞くというのに賛成か反対かの欠をとってもらえばわかりやすいと思います。

岩崎健二委員長

今、皆さんの総意として、議会のこの会だけで決めるんじゃないくて、いろんな方法があったにしろ、市民の意見を聞くというのは皆さんの統一した見解かと思うんですが、いいですかね。

竹原恵美委員

委員長がおっしゃる意見を聞くという意味は、意見交換会をするという意味なんですか。ああそう。それはそうなんですって。

岩崎健二委員長

市民の意見を聞くということは意見交換会をするという意味ですよ。

野畑直委員

アンケートが準備できれば準備して、区長会にお願いをして、1日にありますので、広く各区の関心のある人たちに各区の意見をとりまとめて期間を切ってやってもらったらいいいということですよ。アンケートをつくって、アンケート用紙を配付して、そして回収すると。

白石純一委員

区長に配ってもらってもいいんですけども、アンケートというのは、データというのはやっぱり無作為にとらないとですね、区長の普段のお付き合いの方だけに配ったのでは意味がないので、ここに配ってくださいというのを市が無作為に抽出して、そこに区長が届けるというそういうやり方はあると思います。

山田勝委員

市民に議員定数について話し合いをしてるよっていうのを知らしめるための一つの手段としてはな、区長会でちゃんとそういう旨の話をして、アンケートをやるとかなんとか、それだけで十分行きわたりますと。

竹原信一委員

今の白石議員の意見はもともとなんです。そして、データを集めたときにこれは無作為の抽出によるものです、これは区長会によるものです、分けて表現しとけば、それを見て結果的には議会が、議員の皆さんがそれぞれ判断することになっていくんじゃないでしょうか。集め方はこんな集め方しましたちゅうのを一つ一つ明確にしとけばいい。

岩崎健二委員長

それでは皆さん、それぞれの御意見が出たようです。そこで、皆さんの御意見を参考に、させていただきながら、委員長のほうでまとめて次の会にお諮りしたいと思います。よろしいですか。

[発言する者あり]

先ほど決をとったんですが、ほぼ半々という状況ですので、時間的なもの、予算的なもの、あるいは皆さんの今の御意見を伺ったのを踏まえてどのような

方法をとるか、山田委員がさっきおっしゃった市民への周知のことなども踏まえた上で、委員長のほうで案をつくらせてもらいたいと思いますが、いかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

白石純一委員

7、7であったのであれば最終的に委員長がどちらかで決めていただいてもいいと思うんですけども。

〔発言する者あり〕

岩崎健二委員長

それらも含めて、先ほど7名でしたので、半々でしたので、それを含めて委員長のほうで案をつくらせていただきたいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

竹原信一委員

今から委員長が判断するにあたって、いろんな情報を集められると思いますけれども、ここにいるほかの意見も聞いてください、これからも。判断するにあたって、自分1人で決めますよじゃなくて。

〔発言する者あり〕

岩崎健二委員長

今の皆さんの意見を聞いた上で、それをもって私の所見をやらせていただきたいと思います。いいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしを認め、次回の委員会の日程につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、本日の議員定数等調査特別委員会を散会いたします。

(散 会 12時 1分)

議員定数等調査特別委員長

岩 崎 健 二